

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	自転車まちづくり企画運営事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	建設	局	自転車まちづくり	部	自転車企画推進
				課	評価責任者(課長名)
					松谷

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	人と環境に優しい交通体系の構築など低炭素型都市構造への変革	無
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市自転車のまちづくり推進条例			
	4	関連計画	堺市自転車利用環境計画			
5	事業実施の経緯	平成13年に株式会社シマノから2億円の寄付を受け、「堺市自転車環境共生まちづくり基金条例」を創設した。市民・自転車関連団体・学識経験者及び行政で構成される「堺市自転車環境共生まちづくり企画運営委員会」において、当該基金を活用し、自転車のまちづくり事業等を企画・実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会)		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	自転車利用者等		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	平成26年10月施行の「堺市自転車のまちづくり推進条例」の目的である「自転車を利用しやすいまち」の実現に向けて、市民・事業者・行政が協働して、安全で、安心して自転車を利用しやすいまちづくりに取り組んでいる。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車ヘルメット購入補助事業(平成30年度終了) ・堺自転車安全利用講習会受講者(65歳以上の高齢者及び小学生とその保護者が対象)に対して補助券を配付 ・「堺自転車のまちづくり・市民の会」との協働による自転車のルール周知・マナー啓発を中心とした活動 ・さかい自転車リーダー養成講座 ・自転車利用推進委員(自転車リーダー)の認定を行う、事業者向けの講習会を開催 ・「SAKAI散走」、「堺自転車の楽校」等自転車の魅力を伝える企画、実施 ・自転車地図の作成(2年毎) ・自転車の利用促進の一環で、推奨サイクリングコースや散走コースを掲載した堺市全域をカバーした地図を作成、発行 ・堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会の開催 ・条例や計画、また市の自転車施策の進捗管理の実施及び自転車まちづくりを進めるための企画・立案等意見の聴取 		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
		委託業者			

Ⅲ. 投入量

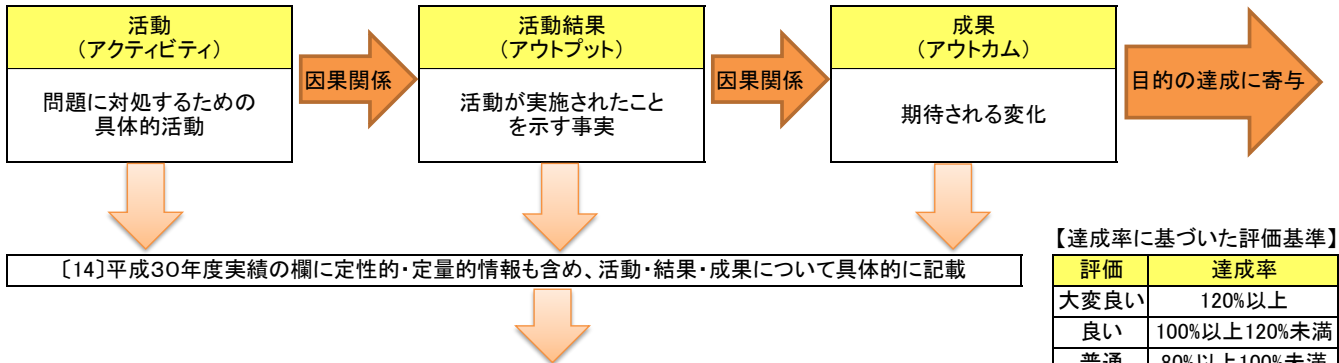
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	11,608	7,789	9,524	5,370	
主な事業費内訳	企画運営委員会負担金	千円	5,200	4,400	5,100	4,700
	基金積立金	千円	1,500	200	200	200
	報償費、需用費(印刷製本費)、委託料ほか	千円	1,049	87	3,782	470
	ヘルメット補助事業	千円	3,859	3,102	442	0
	財源内訳	千円				
	国・府支出金	千円				
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他(自転車環境共生まちづくり基金繰入金等)	千円	6,607	4,598	5,219	4,840
一般財源	千円	5,001	3,191	4,305	530	
12 人件費 (b)	千円	13,630	13,630	13,630	10,230	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	25,238	21,419	23,154	15,600	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自転車まちづくり企画運営事業	シート番号	19-89
-------	----------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>14 自転車ヘルメット購入補助付き自転車安全利用講習会を10回開催した。受講者数は、228人で前年度の半数以下であったことから、高齢者及び小学生を対象とした本ヘルメット購入補助事業は予定どおり4年間で終了となった。 「堺 自転車のまちづくり・市民の会」と協働で自転車デー(自転車の安全利用の啓発を大型商業施設や市民が集う区民まつり等で自転車のルール・マナーのクイズを通じて安全利用の啓発)を実施。結果、12回、3,523人に啓発できた。また、自転車リーダー設置事業所90か所からの活動報告書を集計した結果、合計での啓発回数は75回であった。これらの結果、市民及び事業所内で自転車安全利用の意識向上を図った。 また、「堺自転車の楽校」(年12回)や「SAKAI散走」を市民協働で実施し、さらに「堺市自転車地図」を作成、配布等を行い、自転車の楽しみを伝え、自転車利用促進につなげた。</p>							
	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	15	「さかい自転車デー」(自転車安全利用啓発)参加者数	人	目標値	5,000	5,000	4,500	4,500
				実績値	4,824	3,336	3,523	
				達成率	96%	67%	78%	
				評価	普通	少し悪い	少し悪い	
	算出方法・設定根拠など		啓発者数を実績値とする。目標値は、1回当たり450人×10回					
	16	目標						
	目標に対する実績		市民協働で「堺自転車の楽校」や「SAKAI散走」の実施。「自転車地図」の作成及びPR					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
17	<p>【自転車デーの開催】 「自転車デー」では、参加者数の目標値を下回ったが、自転車のルールマナークイズを通して、参加者一人一人と会話を通して啓発を行うことで、安全利用の意識の向上を行った。</p> <p>【自転車の利用促進】 「堺自転車の楽校」では、自転車の魅力等を様々な角度から伝えるため、毎月テーマを変え、年12回開催を行い、また、百舌鳥古墳群巡りと題した「SAKAI散走」を市民協働で実施し、30名の方にご参加いただき、それぞれ自転車の魅力を十分に伝えることができ、自転車利用の促進に努めた。 「堺市自転車地図」については、増刷を行い、区役所・観光案内所・コミュニティサイクルポート等広く配布を行い、また広報さかい等でもPRを行い、問い合わせが多くあるなど、自転車の利用促進に努めた。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。